

3. 重点整備地区の設定

3-1. 特定旅客施設となる駅の抽出

「交通バリアフリー法」によると「特定旅客施設」「重点整備地区」「特定経路」について以下のように定められています。

【特定旅客施設】

旅客施設のうち、利用者が相当数であること又は相当数であると見込まれる施設で以下の要件に該当するもの。「重点整備地区」を設定する際の中心的施設となる。

● 特定旅客施設の要件

- ① 1日当たりの平均的な利用者が5,000人以上の施設（駅）
- ② 1日当たりの高齢者や障害者の利用者が、①の施設のそれと同程度以上の施設（駅）
- ③ ①②以外の施設（駅）で、徒歩圏内に多数の高齢者や障害者が日常的に利用する官公庁施設、福祉施設等が立地している施設で、それらの施設や移動経路におけるバリアフリー化の現状からみて、一体的に事業を実施することが効果的である場合

【重点整備地区】

「特定旅客施設」を中心に設定される、バリアフリー化を重点的に進めるべき地区で、次の要件に該当するもの。

- ① 「特定旅客施設」の概ね徒歩圏にある地区で、高齢者や障害者が日常的に利用する官公庁施設、福祉施設が立地する地区
- ② 「特定旅客施設」と官公庁施設や福祉施設との経路（＝「特定経路」）や周辺の公共施設でバリアフリー化のための事業の実施が特に必要な地区
- ③ バリアフリー化の事業を重点的かつ一体的に実施することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区

【特定経路】

「特定旅客施設」と周辺の官公庁施設、福祉施設等との間の経路。

（「交通バリアフリー基本構想」では、特に、実際にバリアフリー化のための事業を実施する道路、駅前広場、通路などを指す。）

※「交通バリアフリー法・同施行令」より

本市の鉄道駅の中で、前項の「特定旅客施設」に該当する可能性のある施設は、以下の駅です。

【特定旅客施設に該当する可能性のある駅】

●南海	： 貝塚駅	——1日平均利用者（乗降客）数 --- 21,538人
●南海	： 二色浜駅	——1日平均利用者（乗降客）数 ---- 4,958人
●JR	： 和泉橋本駅	——1日平均利用者（乗降客）数 ---- 6,120人
●水間鉄道	： 貝塚駅	——1日平均利用者（乗降客）数 ---- 6,043人
※乗降客数は平成13年度（西日本旅客鉄道・南海電気鉄道・水間鉄道資料より）		
※南海二色浜駅の乗降客数を概ね5,000人と見なしています。		

【各駅のバリアフリー化の状況調書】

		南海線		JR 阪和線	水間鉄道	
		貝塚駅	二色浜駅 (平面駅)	和泉橋本駅	貝塚駅 (平面駅)	
スローステップ		—	×	×	×	
エレベーター	道路→改札	×	—	×	—	
	改札→ホーム	×	—	×	—	
エスカレーター	道路→改札	○	—	×	—	
	改札→ホーム	○	—	×	—	
	車いす対応	道路→改札	○	—	×	—
		改札→ホーム	○	—	×	—
階段昇降機		—	×	×	×	
車いす用トイレ		○	×	×	×	
ベビーベッド等		×	×	×	×	
車いす対応自動改札		×	○	×	×	
車いす用渡し板		○	×	○	×	
点字券売機		○	○	○	○	
階段手すり・段鼻		○	×	×	○	
誘導・警告ブロック		○	○	○	×	
点字案内板・触知図		×	×	×	×	
誘導鈴・チャイム		○	×	×	×	
ホーム列車案内装置		○	○		×	
車いす対応公衆電話		×	×	×	×	

○：整備されている ×：整備されていない —：駅構造や他設備により必要なし
 (※「大阪府福祉のまちづくり条例」の整備基準に適合する場合のみ「○：整備されている」としています。)

3-2. 重点整備地区対象駅の設定

(1) 特定旅客施設となる駅と駅周辺の特性

重点整備地区の設定に向けて、特定旅客施設となる駅と駅周辺の特性について以下に整理します。なお、南海貝塚駅と水間鉄道貝塚駅については、隣接した相互乗換え駅となっていることから、一体的なものとして整理します。

■ 各駅の特性整理表

	貝塚駅	二色浜駅	和泉橋本駅
乗降客数 (H13)	27,581人 (南海・水間鉄道合計)	4,958人 (南海)	6,120人 (JR)
駅の位置 づけと 性格	○市の表玄関 ○南海線・水間鉄道の乗 換え駅	○臨海地域南部の中心 駅 ○二色の浜公園への最 寄駅	○JR沿線南部の中心 駅
駅周辺の 土地利用	○市の中核機能が立地 (商業核) ○市の中心的な商業・業 務地	○近隣商業地 (地域商業核) ○住宅地	○近隣商業地 (地域商業拠点) ○住宅地
公共公益 施設の 立地	【500m圏】 貝塚警察署／貝塚郵便局／ 大阪府貝塚社会保険事務所 ／合同センター／東診療所 ／ひと・ふれあいセンター ／第一中学校／北小学校／ 北幼稚園／貝塚カトリック 幼稚園／海塚保育所／貝塚 中央商店街／海塚商店街 【1km圏】 市役所／教育庁舎／市民福 祉センター／やすらぎ老人 福祉センター／貝塚港湾労 働者福祉センター／市立貝 塚病院／保健合同庁舎／市 民図書館／市民文化会館 (コスモシアター)／青 少年人権教育交流館／総合 体育館／第一プール／第二 プール／大阪府立貝塚高等 学校／第二中学校／津田小 学校／津田幼稚園／西幼稚 園／津田保育所／東保育所 ／堀公園	【1km圏】 西小学校／西幼稚園／二色 幼稚園／こぎ幼稚園／貝塚 南保育園／大阪府営二色の 浜公園	【500m圏】 斎場／第四プール／南小学 校／南幼稚園 【1km圏】 市役所／教育庁舎／市民福 祉センター／保健合同庁舎 ／市民図書館／市民文化会 館(コスモシアター)／ 総合体育館／第一プール／ 大阪府立貝塚南高等学校／ 第四中学校／貝塚南保育園 ／貝塚中央保育園
駅のバリ アフリー 化状況 (※)	11(南海貝塚駅) 2(水間鉄道貝塚駅)	4	4

※前頁の「バリアフリー化状況調査」における○の数

(2) 重点整備地区の設定

前項の各駅とその周辺の特徴を踏まえ、南海・水間鉄道貝塚駅周辺を重点整備地区として設定します。

【重点整備地区】—南海・水間鉄道 貝塚駅 周辺

- 南海貝塚駅と水間鉄道貝塚駅は、一体となって本市の表玄関となり、相互乗換えのターミナルとなっています。また、駅乗降客数は両駅合計で27,581人と、市内の鉄道各駅の中でも突出しています。
- 貝塚駅周辺は、市の中心的な商業地や各種公共公益施設など、高齢者、障害者をはじめ多数の市民が日常的に利用する施設が多数立地しています。
- 施設が多く、多数の利用者があることから、貝塚駅周辺でバリアフリーを推進することは、より多くの市民にとって利便性が向上します。
- 市の中心駅である貝塚駅周辺で重点的にバリアフリー化を進めることが、他の駅や市域全体へのモデルとなり、波及効果が期待できます。

3-3. 貝塚駅周辺の現況

(1) 土地利用

貝塚駅周辺は、商業地となっています。特に駅西側の、(府)堺阪南線までのエリアは商店街もあり、面的な商業ゾーンとなっています。

そのまわりは、住商共存地となっており、さらにその外側には住宅地が広がっています。

(2) 施設分布

貝塚駅から概ね1km圏のエリアには、多くの公共公益施設が分布しています。

特に海塚地区の貝塚郵便局周辺、畠中1丁目地区の市役所周辺、東地区の東保育所周辺には、複数の施設が立地しています。

これらの中で市役所周辺には教育庁舎、保健合同庁舎、市民福祉センター、市民文化会館(コスモシアター)、市民図書館、総合体育館など、市民に身近な公共公益施設が集積しています。

また、駅北側の堀3丁目地区には多くの市民が利用する市立貝塚病院が立地しています。

(3) 主要道路

貝塚駅周辺では、(府)大阪臨海線、(主)岸和田牛滝山貝塚線、国道26号の幹線道路と津田川で囲まれたエリアが、概ね1km圏に当たります。

エリア内は、(府)貝塚停車場線や(市)脇浜石才線、(市)小瀬神前線、(市)鳥羽畠中線をはじめとする主要な市道によって幹線道路網が形成されています。

これらの幹線道路は、概ね歩道が設置されていますが、一部には、比較的交通量が多いにもかかわらず、歩道の設置されていない路線や区間も見られます。

3-4. 重点整備地区

- 貝塚駅から概ね 500~1,000mの徒歩圏を想定します。
- 障害者、高齢者を含めた市民が広く利用する公共公益施設を含めたエリアとします。
- 重点整備地区の面積は約 109ha となります。

[主な公共公益施設立地地区]

- 畠中 1 丁目：市役所周辺
- 海塚地区：貝塚郵便局周辺
- 東地区：やすらぎ老人福祉センター周辺
- 堀 3 丁目：市立貝塚病院周辺

3-5. 特定経路

- 広く市民に利用されている道路として、貝塚駅周辺の骨格的な道路を設定します。
- 駅から、市役所周辺地区までの経路を設定します。

重点整備地区と特定経路の設定



SCALE=1/10,000

